

第 12 回 宇 宙 開 発 委 員 会 (定例会議)  
議 事 次 第

1. 日 時 昭和 5 5 年 7 月 2 日 (水)

午後 2 時 ~ 4 時

2. 場 所 宇 宙 開 発 委 員 会 会 議 室

3. 議 題 H-I ロケットの開発について

(宇宙開発委員会 第二部会第一次報告)

説 明 者

宇宙開発委員会第二部会長 鷲 津 久一郎

4. 資 料

委 1 2 - 1 第 1 1 回 宇 宙 開 発 委 員 会 (定例会議) 議事要  
旨 (案)

委 1 2 - 2 H-I ロケットの開発について  
第一次報告書

# 委12-1

## 第11回宇宙開発委員会(定例会議)

### 議事要旨(案)

- 日時 昭和55年6月18日(水) 午後2時～4時
- 場所 宇宙開発委員会 会議室
- 議題 (1)宇宙開発計画の見直しに関する要望事項について  
(2)宇宙開発計画の見直しに関する審議について
- 資料  
委11-1 第10回宇宙開発委員会(臨時会議)議事要旨(案)  
委11-2 宇宙開発計画(昭和54年度決定)の見直しに関する要望事項  
委11-3 宇宙開発計画(昭和54年度決定)の見直しに関する関係省庁の要望事項の概要, 昨年度との比較等  
委11-4 宇宙開発計画の見直しに関する審議について(案)

#### 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	吉 識 雅 夫
“ 委員	齋 藤 成 文
“ “	八 藤 東 禮

#### 関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長	勝 谷 保
“ 長官官房審議官	神 津 信 男

文部省学術国際局審議官

大 崎 仁  
(代理:横 山)

通商産業省機械情報産業局次長

小 長 啓 一  
(代理:吉 出)

運輸省気象庁総務部長

相 良 英 明  
(代理:山 中)

郵政省電波監理局審議官

梶 光 一 郎  
(代理:藤 原)

建設省大臣官房技術参事官

高 秀 秀 信  
(代理:土 肥)

宇宙開発事業団システム計画部

大 野 信 幸

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

佐々木 寿 康

“ “ 宇宙国際課長

佐 藤 允 克

他

#### 6. 議 事

##### (1) 前回議事要旨

第10回宇宙開発委員会(臨時会議)議事要旨(案)が確認された。

##### (2) 宇宙開発計画の見直しに関する要望事項について

事務局より資料委11-2及び3に基づき, 宇宙開発計画(昭和54年度決定)の見直しに関する各省庁の要望事項について説明が行われたのち, 以下の質疑応答が行われた。

八藤： 郵政省の要望事項の1にある適切な救済措置とは何か。

藤（代理：藤原）： E C S - b の不具合に鑑み、今後自主的な宇宙開発を進めるに当っては実用と開発の二つの目的をもって打ち上げられる衛星については、利用機関に対する何らかの救済措置が必要と考えており、そのための具体的方策の検討をお願いしたい。

具体的方策としては関係機関が基金を拠出し、救済に充てるというのも一つの方法であり、また、保険という方法も考えられる。

八藤： 保険については E C S の打上げに見られるとおり既に採用されている。

新しい救済措置を講ずる必要性、救済措置の具体的な形態が明らかでない。

藤（代理：藤原）： 別の機会に再度説明したい。

(3) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

事務局より資料委11-4に基づき説明が行われ、原案どおり決定された。

(4) その他

事務局より、6月12日宇宙開発委員会終了後行われた実験用静止通信衛星（E C S - b）に関する記者会見の様相について説明が行われた。